

2017年7月15日(土)～9月18日(月・祝)

※会期中無休

開館時間／9:30～17:00(最終入館16:30)

会場／秋田県立近代美術館
5階展示室

観覧料／一般 1,000円(800円)
高・大学生 500円(400円)

※要学生証提示

※中学生以下無料 ※()内は前売り・20名以上の団体料金

※前売り券販売期間:5月13日(土)～7月14日(金)

※障害者手帳提示の方・介添者1名まで半額

■プレイガイド

秋田県立近代美術館／秋田ふるさと村／
さきがけニュースカフェ／ローソンチケット(Lコード:22627)／
チケットぴあ(Pコード:768-253)／
caoca広場サービスカウンター(前売り券のみ)

■前売り券取次所

秋田魁新報社県内支社・支局／秋田魁新報販売店

■前売り券に関するお問い合わせ

秋田魁新報社事業局企画事業部
TEL 018-888-1857 (平日9:00～17:00、土日祝休)

ABS秋田放送営業局企画事業部

TEL 018-824-8500 (平日9:00～17:00、土日祝休)



© 国立西洋美術館

国立
西洋美術館

(東京・上野公園)

国立西洋美術館は、フランス政府から寄贈返還された「松方コレクション(印象派の絵画およびロダンの彫刻を中心とするフランス美術コレクション)」を基に、1959(昭和34)年4月に設立されました。以来、広く西洋美術全般を対象とする唯一の国立美術館として、展覧事業を中心に、西洋美術に関する作品および資料の収集、調査研究、保存修復、教育普及、出版物の刊行等を行っています。2016(平成28)年7月には、国立西洋美術館を含む「ル・コルビュジエの建築作品ー近代建築運動への顕著な貢献ー」が、ユネスコの世界文化遺産に登録されました。中世末期から20世紀前半の絵画や版画、素描、彫刻を中核として、タペストリーや指輪などの工芸品、彩飾写本など、幅広く所蔵・展示する国内有数の美術館です。



クロード・モネ《エプト河の釣人たち》1887年 国立西洋美術館寄託

平成29年度国立美術館巡回展 国立西洋美術館所蔵
芸術の女神
ミュゼーズ
まなざしの先の女性たち
Women before the Artists' Eyes

関連イベント

1. 記念講演会

7月15日(土)13:30～15:00
近代美術館6階研修室
演題:「女性たちはいかに描き、描かれたか」
講師:国立西洋美術館長 馬淵 明子 氏
参加無料、要申込み(先着順定員100名)
※美術館へ電話でお申し込みください
【受付期間:6/12(月)～7/11(火)】

2. 国立西洋美術館研究員による
ギャラリートーク

7月16日(日)14:00～14:45
近代美術館5階展示室
ナビゲーター:国立西洋美術館研究員
中田 明日佳 氏
要観覧券、申込み不要

3. ABSアナウンサーと近代美術館学芸員による
ギャラリートーク

8月6日(日)、8月19日(土)14:00～14:45
近代美術館5階展示室
要観覧券、申込み不要

4. ミュージアムコンサート

浅野未希&斎藤洋 ヴァイオリン・ピアノデュオ
～アフタヌーン名曲カフェ～
8月27日(日) ①13:30～ ②15:00～
近代美術館5階中央ホール
出演:浅野 未希 氏(ヴァイオリン)
斎藤 洋 氏(ピアノ)
鑑賞無料(展覧会は要観覧券)、申込み不要

「リレー割引」でお得!

●4/22～7/8、県立近代美術館で開催される「スズキ
コージ展」の観覧券(半券)を美術館地下1階カウン
ターにご持参いただくと、本展覧会の観覧券を団体料
金でご購入になれます。

●同様に、本展覧会の観覧券(半券)をご持参いただ
くと、9/23～11/26に開催される「明治工芸の至宝展」
の観覧券を団体料金でご購入になれます。

※いずれも半券1枚につき、あ一人様1回限り、招待券は除く。

本展覧会情報は特設HP & Twitterで

【特設HP】

<http://www.akita-abs.co.jp/museten/>

【Twitter】

@museten_akita(特設アカウント)



交通のご案内



JRとバス/JR横手駅東口からバス「ふるさと村行き」で、
ふるさと村下車

乗用車 / 秋田自動車道 横手インターより3分

※車いす対応駐車場がございます。

ご利用の際は美術館にお電話ください。

高速バス / 高速バス湯沢・秋田線「横手インター入口」

下車徒歩10分

※「横手インター入口」は、秋田行きは乗車のみ、
湯沢行きは降車のみです。

秋田県立近代美術館
Akita Museum of Modern Art

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46
(秋田ふるさと村内)

Tel:0182-33-8855 Fax:0182-33-8858

E-mail:akitamma@rnac.ne.jp

Twitter:@akitamma

美術館公式HPは [秋田県立近代美術館](#) で検索!



2017年 7月15日(土)～9月18日(月・祝)

開館時間／9:30～17:00(最終入館16:30) ※会期中無休

会場／秋田県立近代美術館 5階展示室

観覧料／一般 1,000円(800円)、高・大学生 500円(400円) ※要学生証提示

※中学生以下無料 ※()内は前売り・20名以上の団体料金

※前売り券販売期間:5月13日(土)～7月14日(金) ※障害者手帳提示の方・介添者1名まで半額

■主催:国立西洋美術館
西洋美術館展実行委員会(秋田魁新報社・ABS秋田放送・秋田県立近代美術館)

■後援:横手市、横手市教育委員会、東奥日報社、岩手日報社、河北新報社、
山形新聞・山形放送、RAB青森放送、テレビ岩手、ミヤギテレビ、
横手かまくらFM、エフエムゆーとぴあ、FMはなび

お問い合わせ

秋田県立近代美術館
Akita Museum of Modern Art

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46(秋田ふるさと村内)

TEL:0182-33-8855 FAX:0182-33-8858 E-mail:akitamma@rnac.ne.jp Twitter:@akitamma

美術館公式HPは
[秋田県立近代美術館](#) で検索!

マリー=ガブリエル・カベ《自画像》(部分) 1783年頃 国立西洋美術館蔵

MUSES

平成29年度国立美術館巡回展 国立西洋美術館所蔵
芸術の女神 ミューズ
まなざしの先の女性たち
Women before the Artists' Eyes

ルネサンスから近代まで——西洋の巨匠たちに靈感を与えた、女神たちが舞い降りる

女性作家たち

20世紀以前の西洋では、女性芸術家は稀な存在でした。時代を切り拓いた女性画家たちは、どのような状況下で、何を描き残したのでしょうか。



母と家族

聖母像から現実世界の母親の姿に至るまで、美術作品には様々な“母”としての女性が表されてきました。作品からは、母なる愛の深さや、それゆえに生じる苦悩などが伝わってきます。



魔性の女

西洋では古くから、男性を誘惑し破滅へと導く女たちの姿が美術作品に取り上げられてきました。あらいまい魅力と秘めた“魔性の女”の姿に着目します。



“ミューズ”とは、ギリシャ・ローマ神話に登場する、芸術の創造的靈感を司る女神たちのことです。古代より、西洋では伝統的に女性たちの存在が創造の源となり、女神像や聖母像から現実世界の女性像に至るまで、様々な美術作品が生み出されてきました。

本展では、国立西洋美術館の所蔵品より、約100点の絵画、彫刻、版画、工芸(指輪)作品をご紹介します。ルネサンスから近代まで、8つのテーマで構成されたバラエティ豊かな名品を通して、芸術家たちのまなざしを捉えた魅力あふれる女性たちの姿をお楽しみください。

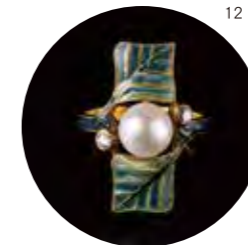
恋愛・結婚——女と男の物語

人類最初のカップルであるアダムとエヴァ、古代神話に登場する神々、そして現実世界の恋人たちなど、“恋愛”や“結婚”をテーマにした作品をご紹介します。



近代都市生活と女性

近代に入ると人々の生活や働き方に変化が表れました。優雅に余暇を楽しむ女性から、舞台上で踊り子として働く女性まで、近代都市に生きる女性たちを見ていきます。



働く女性たち

美術作品に表される“働く女性”の姿は、それぞれの時代を映しながらか変化を遂げてきました。社会や家庭における女性の役割と、その姿の変遷に着目します。



アルカディアの女性たち

古代ギリシャ・ローマの詩文学に登場するアルカディアは、牧歌的理想郷として描かれ続けてきました。神話上の舞台から現実の理想風景まで、芸術家たちの心を捉えた理想郷の世界を巡ります。



女性の裸体表現

モデルとしての女性の姿は、時に理想化され、時に誇張され、またある時には、あるがままの姿で創作されました。理想化された身体から写実的な裸体まで、女性の美を見つめたまなざしに迫ります。



1. アンゲリカ・カウフマン《パリスを戦場へと誘うヘクトール》1770年代
2. ヴィクトリア・デュブル(ファンタン=ラトゥール)《花》制作年不詳 松方コレクション
3. カルロ・ドルチ《悲しみの聖母》1655年頃 4. パオロ・ヴェロネーゼ《聖カタリナの神秘的結婚》1547年頃
5. エドヴァルド・ムンク《ヴァンパイア》制作年不詳 6. マックス・クリンガー(3):《蛇》、連作《エヴァと未来》より 1880年
7. リュシアン・シモン《婚礼》制作年不詳 松方コレクション 8. ニコラ・ランクレ《眠る羊飼女》1730年頃

9. 作者不詳《ギメル・フェデリック》16世紀後半 橋本コレクション 撮影©上野則宏 10. オーギュスト・ロダン《接吻》1882-87年頃(原型) 松方コレクション 撮影 ©上野則宏
11. カミーユ・ピサロ《立ち話》1881年頃 松方コレクション 12. ルネ・ラリック《葉のプリカジュール》1900年頃 橋本コレクション 撮影©上野則宏
13. リュシアン・ガイヤール《トンボのプリカジュール》1900年頃 橋本コレクション 撮影 ©上野則宏 14. ビエール=オーギュスト・ルノワール《風景の中の3人》1916年
15. アルフォンス・ミュシャ《「ロレンザッチオ」のポスター:サラ・ベルナルド》1896年 16. ラファエル・コラン《詩》1899年 17. ラファエル・コラン《案》1899年
18. グイド・レーニ《ルクレティア》1636-38年頃 19. パブロ・ピカソ《1968年3月29日 I》1968年 ©2017-Succession Pablo Picasso-SPDA(JAPAN)